

令和6年度 ケースレポート発表会

令和6年10月23日・24日の2日間、3年生のケースレポート発表会を行いました。実習で担当させていただいた患者様への看護について、看護理論と照らし合わせながら実践した看護の意味を深め、レポートにまとめました。発表会は、3年生みんなで役割を決め、協力して運営しました。

1・2年生も参加し、3年生の発表を聞きました。現在学んでいる授業を想起しながら、改めて看護とはなにか?について考えることができました。また、深く学びたい部分については、3年生に積極的に質問を行いました。3年生のわかりやすい解答や説明もあり、すばらしい学びの共有ができました。



- まとめるのはたいへんだったけど、本を読み考察することで、自分の看護に対する考えが深まったように思う。
- 発表は緊張したけど、少し自信がついたし、成長したように思う。
- 実習が2クール残っているので活かしていきたい。

3年生発表直後の感想より

私も3年生になったら、このようなまとめができるのかと少し不安に感じたのと同時に、これからの授業や演習を今よりもっと真剣に学び、知識・技術を身につけていきたいと思いました。そして私自身もっと成長して、先輩のような看護学生になりたいと思いました。

1年生より



「患者さんが思いを表出できるように、沈黙を続けた」という内容が印象に残っている。数分間の「沈黙」が患者さんの思いを引き出したのだが、「沈黙」を根拠をもって行っていることに驚いた。もっとコミュニケーションを学んでいきたい。

2年生より

